

平成26年度支部総会報告

北海道支部

建築学科S55年卒業 支部長 羽 深 久 夫

日 時：平成26年7月12日(土) 12時～15時

場 所：旅館中村屋

(札幌市中央区北三条西7丁目緑苑ビル)



平成26年度北海道支部総会は、参加者10名で、7月12日(土)に中村屋旅館で12時から午後3時まで開催されました。本部から新井上副理事長(建築35)にご来札いただき、旭川の遠路から参加した水内会員(建築25)への永年功労会員表彰をしていただきました。伊東会員(建築23、工業会参与)、得田会員(建築43、工業会理事)はお身体が思うにまかせないにも拘らず、参加いただきました。伊東会員と水内会員への米寿祝いをした後、懇親会に入り、米寿祝いと支部総会開催のお祝いを合わせて池部会員(建築49)が沖縄の三線でレパートリ曲を披露して、「安里屋ゆんた」の曲はアンコール演奏されました。その後、伊東会員、水内会員、金森会員(建築35)、井上副理事長、小西会員(建築43)、得田会員、佐藤会員(工化47)、池部会員、乗京会員(産機50)、羽深会員(建築55)の全員が近況報告し、恒例の伊東会員のプロ級の写真、小西会員の福井や熊本を題材とした水彩画の鑑賞をしました。最後に伊東会員の締めで、10月25日(土)12時開催の会員交流会での再会を約束して散会しました。(文責：羽深)

東北支部

建築学科S40年卒業 支部長 三 藤 史 郎

日 時：平成26年6月15日(日) 13時～

会 場：仙台ガーデンパレス

仙台市宮城野区榴岡4丁目1番地5号

来 賓：

工業会 前理事長 川上 英男 様

会 員 8名

道上 修(応物S42 岩手県)

三藤 史郎(建築S40 宮城県)

小林 秀夫(建築S46 岩手県)

島本 顕(建築S41 宮城県)

瀬尾 昌幸(情報H15 山形県)

笹島 正男(電気S43 宮城県)

東山 禎夫(電気S50 福島県)

船田 利廣(建築S54 宮城県)



大震災後の11月に東北支部が設立され、今回で第3回の定期総会となります。

今回も設立時からお世話になっている川上前理事長が前日、東海支部での本部定期総会を終えて東北支部に来賓としてご出席頂きました。

今回の総会には新しく出席くださる方が一人おられると喜んでおりましたが、当日都合で欠席、8人となり前年と同じ出席者数となりました。

島本幹事の進行で総会は始まり、支部長の挨拶に続き、川上前理事長からご挨拶を頂きました。その中で福井高等工業初代校長 關 盛治先生のお話や胸像製作のスケジュール表での現状報告等興味深く聞かせて頂きました。また次期理事長の“理事長就任にあたって”のメッセージと“経歴書”を紹介して頂きました。

議事では平成25年度事業報告・決算報告 平成26年度事業報告(案)・事業報告(案)は御承認頂き、平成26・27年度役員選任の件では新たに役員を引き受けて下さる方が無く全員が2期目を留任という事になりました。

また、その他で会員名簿の件でアンケートを取った

事や集計・活用方法について事務局より説明があり、今後役員会で話し合う事で承されました。

この後の懇親会でも川上前理事長を囲み福井大学の現状等の話や理事長14年の苦労話や胸像製作に対して苦労されたこと等の話をお聞きしました。自己紹介・近況報告などで大いに盛り上がり次回は出席者が増えることを願って散会となりました。

(東北支部長：三藤 史郎 建築S40年卒 記)

関東支部

電気工学科S42年卒業 支部長 本多 弘 徳

日 時：平成26年6月21日(土)

14時～17時30分

会 場：四ツ谷「主婦会館」

参加者：来賓 工業会前理事長 川上 英男 様

産学官連携本部 本部長 米沢 晋 先生、

竹本 拓治 先生

会員 86名(内、女性3名)

関東支部では、総会をはじめ、

(1) 囲碁同好会(年4回以上開催、次回は8/26(火))

(2) 機械系勉強会

「液中の固体粒子と気泡の挙動および混相流の研究」と題して、太田 淳一 教授にご講演頂きました。

電子工学科OBも出席し、非常に参考になったとの事でした。

(3) 建築・建設系懇親会、応物系懇親会、電気・情報系新年会

などを開催しており、同じ学科の中、異なる学科との交流など盛んです。

色々な人の話を聞くのは非常に参考になりますね！

また、同窓と言う気心の知れた仲間との仕事はやり易いですね！

さて、総会は長年工業会の発展に寄与頂いた前川上工業会理事長の御挨拶を頂き、開会されました。

講演会では「福井大学の最近の目覚ましい最先端研究について」と題して、産学官連携本部長 米沢 晋先生、竹本 拓治 先生より、非常に興味深く、分かりやすいお話を頂きました。

米沢先生からは、キャンパスを順にめぐる写真と、福井大学の最先端技術の紹介、竹本先生からは、福井大学のグローバル化、特にタイとの交流と交流の意義について非常に興味深いお話を頂きました。



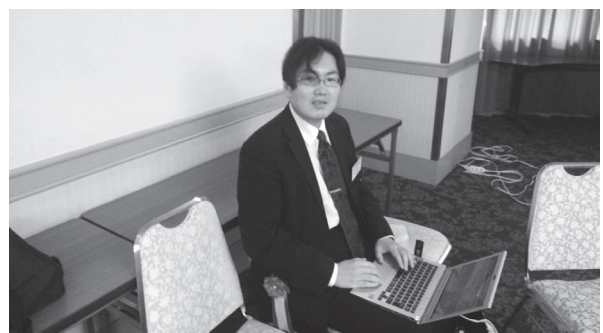
講演会の様子(米沢先生、竹本先生のお話に関心が入っていますね！お蔭で、この後の懇親会での食が進み、幹事は大わらわでした！)



若い人も参加ですね！今年はベトナムからの卒業生も参加、電気系では会社の中での連携を強める施策もスタートしました！会社ごとの幹事を決めて、会社内を取りまとめて頂く。



米沢先生の講演です！福井大学の最先端研究に関心が入っていましたね！



大学で最も考え方の元気な先生かな？大事なグローバル化タイ国との連携のお話は非常に興味深かったですね！

来年の講演は何か良いかを会員から募集中です。

(URL：試行中<http://www.fukudai.sakura.ne.jp/>の情報交換に書き込み下さい)

懇親会は、来賓の方々を交え、初対面関係なく入り乱れて仕事の話、趣味の話、ボランティア活動の話な

ど、にぎわいました。

17:30に散会となり、この後も、各系での二次会となり自己紹介・近況紹介などで大いに盛り上がりました。機械系は、元気な竹本先生を囲み三次会まで行ったとか！

(ご参考：FaceBook「福井大学工業会関東支部」グループ(試行中です))

北陸支部

建築学科S40年卒業 支部長 塚田 律夫

日 時：平成26年6月21日(土)

13時～17時30分

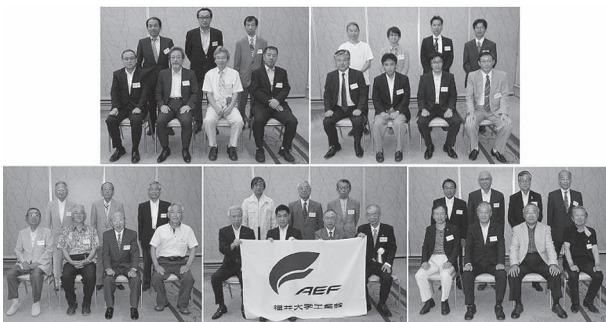
会 場：ホテル日航金沢

参加者：来賓2名 支部会員34名 計36名

来賓：母校から建築建設工学科講師

小嶋 啓介 先生

工業会本部から奥居前副理事長



北陸支部では総会運営・企画等は例年卒業後20年の会員が「20年会」を結成して中心的役割を担っています。

以下は20年会委員からの報告です。

【北陸支部総会】

来賓紹介の後、物故会員のご冥福を祈り黙祷、安立副支部長(電気40)による開会挨拶をいただきました。

続いて、功労者表彰が行われ、石川地区の元支部長 山下昭夫様(紡織31)、平成24年に亡くなられた元新潟地区支部長 小嶋崇裕様への表彰状が授与されました。

当日ご欠席でしたが、この表彰を受けられたのは次の方々です。

藤田順吉郎 様(建築28)、

一 二 信治 様(繊維染料28)、

辻 隆太郎 様(機械31)

次に塚田北陸支部長(建築40)より挨拶の後、来賓の小嶋先生より最近の大学の現状とCOC事業の紹介を交えてご挨拶をいただきました。奥居前副理事長か

らは役員交代についての紹介があり、堀新理事長のメッセージが披露されました。

また、奥居副理事長退任のご挨拶も頂きました。

続いて総会議事に入りました。

議事については、平成25年度事業報告及び決算報告が承認されました。引き続き、平成26年度事業計画及び予算案、平成26、27年度の役員改選案、平成27年度総会について審議された後、満場一致で承認されました。

最後は、姥浦富山地区支部長(建築40)の閉会の挨拶をもって総会は滞りなく終了しました。

【記念講演会】

総会後の講演会では、講師に菱機工業株式会社 代表取締役社長 北川雅一郎様、同常務取締役 若松繁樹様をお招きし、『ひと、くふう』の演題で、技術開発と人材育成のお話をしていただきました。経営の継続と事業内容の変化等、会社設立60年を迎えての歴史も紹介して頂きました。人材育成のお話では同社が実施されている社員の教育方針、研修等のお話をいただき、受講者一同、人材育成の素晴らしさに感心していました。

【懇親会】

講演会の後、参加者全員での記念撮影があり、その後懇親会を開催いたしました。

懇親会の第1部では、越前市在住の寺崎輝夫様(建築38)のピアノ演奏と弾き語りにより開催されました。

塚田北陸支部長の開会挨拶と乾杯を受けて、懇親会の第2部が賑やかにスタートしました。『福井弁で話想会』というタイトルの下、各テーブルでのスピーチや講演会講師の方々との懇話により賑やかに時が流れました。途中、宝田真意様(機械H1)のピアノ演奏と歌により会場内はさらに賑わいました。

懇親会の終盤では、今年も無事に、次年度担当幹事となる平成7年度卒業の一二さんに、工業会旗を引継ぎする『引き渡し式』を行うことができ、一二さんより来年の抱負を語っていただきました。

最後に、福井大学学生歌などを、懐かしく歌い、前坂顧問(建築35)による万歳三唱の後、東川石川地区支部長(建築38)に閉会の挨拶を頂き、来年も盛大な会となることを願い、懇親会が終了しました。

今後、若い世代の卒業生にも参加していただき、後世に残るものとなるよう担当者一同で協力していきたいと思います。

(文責 平成6年卒 新宮宗則、大塚健自)

福井支部

建築学科S35年卒業 支部長 井上 彪

日時：平成26年6月8日(日) 14時～

会場：勝山ニューホテル

来賓：工業会理事長 川上 英男 様

副理事長 奥居 稠朗 様

工学研究科長 小野田信春 様

会員：井上支部長 他34名



川上理事長の挨拶

総会に先立ち、希望者は午前中の見学・研修会に参加した。勝山市役所の宝珍様に案内していただいた。国登録文化財であるえちぜん鉄道勝山駅を出発し、はたや記念館を見学した。絹、人絹織物の一大産地であった勝山市の昭和時代のはたおり機が動く様子、またまゆから糸を取るなど織物産業のしくみや歴史を体感できた。

次に国史跡：白山平泉寺に向かった。蒸し暑い中、参道の杉並木の中を散策するとすがすがしい気分を味わえた。小一時間、汗を滲ませて歩いた境内では発掘された遺構を身近に見ることができ、中世の栄華に思いを馳せた。昼には、おいしい手打ちそばを味わった。

総会は井上支部長の開会挨拶から始まり、来賓の川上理事長、小野田工学研究科長よりご挨拶をいただいた。そして議事に移り、各報告、計画案、役員改選案について承認された。次に永年功労者として、三田村丹南地区長が表彰された。また支部長の退任、新任にあたって井上、畑の両氏より挨拶がされた。

次に講演会に移り、勝山市世界遺産推進室長の宝珍 伸一郎様より「世界遺産登録に向けて—平成25年平泉寺発掘調査」というテーマで講演をしていただいた。白山平泉寺は1,300年前に泰澄大師により開かれ、中世には広大な境内に数十の堂や社、数千の坊院が建ち並ぶ一大勢力を誇ったが、一向一揆との戦いで全山が消失してしまった。ところが、平成元年からの調査で遺構が見つかり、その一部の発掘された石畳道や坊院跡は、遺産として素晴らしく価値がある。今後の発掘調査により世界的に注目を浴びることができる

よう取り組んでいる意気込みが感じられ、期待を強くした。

会場を移しての懇親会では、アトラクションとして奥越前に春を告げる「勝山左義長ばやし」が披露された。太鼓、三味線、笛、鉦による軽快なお囃子に合わせて赤い長襦袢姿の女性による踊りは、うっとりしい梅雨雲を払いのけてくれました。また、地元会員の岡田氏が飛び入りでひよっとこのお面を付けて登場し、大いに盛り上がりました。次回の盛会を願い、散会となりました。



勝山左義長ばやし

(奥越地区長：笠川 正治 繊維S39年卒 記)

近畿支部

建築学科S42年卒業 支部長 藤田 正 昭

日時：平成26年6月28日(土) 14時～

会場：大阪市中央公会堂

大阪市北区中之島 1-1-27



6月28日(土)14:00から会員74名、堀理事長、川上前理事長にご臨席賜り、総数76名の出席者にて大阪市立中之島公会堂で行いました。公会堂は予約が年々難しくなり、第4土曜日になりましたが、立地、景観、料理、及び価格等に魅力を感じ、4年連続の開催になりました。会費の減額、支部予算のやりくりにも大きく貢献しています。

さて、総会では、堀 新理事長にご挨拶頂き、前理事長からの路線は受け継ぎつつ、母校との連携強化な

ど、時代のニーズに合った新しい方向性を予感させるものでした。

議事はすべて承認され、役員の新選では、再任、新任、計16名が選出され、役員間互選により、不肖、私が引き続き支部長を拝命しました。2年後、近畿開催予定の全体総会を終えるまでは頑張り！の意と解しています。

講演は川上前理事長にご無理をお願いして、学校誕生の背景や裏話、工業会の変遷等、大変貴重な事柄を御教示いただきました。

正しい歴史を知り、若手ベテランの区別なく、母校や工業会への関心がより深まったことと思います。

90周年事業、『關初代校長の胸像再建』の意義もよく理解できました。

講演会ののち、中央公会堂を背景に全員で記念写真に納まりました。

懇親会に入り、会員の中から、左藤章衆議院議員に、防衛大臣政務官としての国内外でのご活躍のご報告と、乾杯の音頭をお願いしました。

平成23、26年卒会員など初参加者の自己紹介があり、若い会員たちの熱意、意気込みが年齢差を忘れ、今後の会運営に手ごたえを感じるひと時でもありました。

最後に例年通り、北田大先輩による中締めで、『来年も元気で再会できる』ことを念じて、お開きにしました。

(近畿支部長：藤田 正昭 建築S42年卒 記)

中国支部

建築学科S51年卒業 支部長 高田 明彦

日 時：平成26年6月29日(日) 14時～

会 場：ホテル ニューヒロデン

広島市南区大須賀町14-9

(広島駅在来線口より西へ徒歩5分)

出席者：来賓 工業会理事長 堀 照夫 様

恩師(特別会員) 太田 光雄 様

会員 12名

まず初めに、長年にわたり遠路にもかかわらず、いつも笑顔でおいで頂いた川上前理事長、また奥居前副理事長には母校のそして福井の興味深いお話で支部総会を盛りあげて頂き、ありがとうございました。心より感謝申し上げます。

今回は、最初に写真撮影(昨年より即プリントして会合中に渡しています)をして、総会へと移りました。



総会は吉川支部長の挨拶、司会で始まり、次に堀新理事長よりご挨拶ならびに自己紹介をいただきました。続いて、25年度事業報告、会計報告、監査報告続いて26年度各案、26・27年度役員改正案と審議が進み、承認されました。前週の役員会で提案された「90周年記念事業」「福井大学基金」への中国支部よりの寄付につきましても審議され、満場一致で承認されました。

そのあと、堀理事長の「革新的繊維加工技術について」と題する講演を拝聴しました。短い時間の中、実社名を挙げてのお話、皆たいへん興味深く聞き入っていて、講演終了となるや質問や感想が続出し、そのまま懇親会に突入しそうな勢いでした。

態勢を整えて、佐古顧問の乾杯の音頭で懇親会へと移りました。堀理事長を囲んでの母校と福井の今の話から、それぞれの年代の昔話へと時代を遡って、盛り上がった懇親会となりました。おかげで毎年恒例の出席者近況報告の時間が、削除されてしまいました。無芸無趣味で話題のない私には助かりましたが…。今年も和気あいあいの中、閉会しました。

今は不本意ながら少人数で、広島県在住会員が中心の集まりとなっています。近隣の会員の皆様も旧友との再会ついでにでも、ぜひ一度ご出席ください。平成卒業の会員の皆様も、ぜひ一度ご出席ください。

26年8月20日の広島土砂災害の折は、私が安佐南区在住ということで福井大学時代の友人・知人のみなさまよりご心配の電話をたくさんいただきました。この誌面を借りましてお礼申し上げます。

当日は私の地域も未明から、本当に「過去に経験したことのない」大雨と雷で眠れませんでした。朝のニュースではじめて惨状を知り、驚いた次第です。地域の限定された災害でしたので、当支部会員様には大きな被害を受けられた方はおられないようです。

四国支部

建築学科S40年卒業 支部長 高橋 浩一郎

日 時：平成26年6月15日(日) 13時～

会 場：JRホテルクレメント高松



四国支部は、4県が持ち回りで総会を開催しています。愛媛 → 徳島 → 香川 → 高知の順番で、今回は香川県が当番支部となりました。

四国支部総会は、H26年6月15日(日)に香川県高松市に於いて開催されました。

今回は例年に無く、17名もの会員が集まりましたが、支部設立当時の数にはとても追いつけないものでした。

総会には、工業会本部から堀新理事長の参加をいただき、理事長として最初の支部総会参加となったようです。ご挨拶では、大学の現状を報告いただきましたが、学生の頑張っている様子及びその結果として、全国的にも優位な状態にあることを誇らしくお話しされていました。

その後、参加者全員の近況報告では、「老後の現状報告」のようにりましたが、皆様それぞれの生活を楽しんでおられるようでした。

総会後には、堀理事長の提案で「栗林公園」を見学することになり、有志8名と共に高松藩主松平氏の築造した庭園を殿様気分でご散策いたしました。

今回の支部総会の盛会を祈念し、散会となりました。

香川 河野 宗一(織染：S-53) 記

九州支部

建築学科S47年卒業 支部長 藤田 吉 廣

日 時：2014年(平成26年)5月31日(土)

17時～

会 場：割烹「魚宴」

出席者：来賓 工業会副理事長 奥居 稠朗 様

会員 12名

- 総 会 ○奥居副理事長より大学及び工業会の現況説明
○事業報告・会計・監査報告
- 写真撮影
- 懇親会



今年は、久しぶりに新人の参加があり、和やかな中にも「為になる」会で有りました。参加者は、九州北部の福岡・大分・長崎の三県からであり、南部・沖縄からはここ数年無く、ちょっと寂しい感があります。

福井大学工業会九州支部の総会・懇親会は、総会30分、懇親会3時間の会員同士の親睦を深める会です。会員の皆様、4年に一度くらいでも良いので、「やあ〜!」と言って参加されませんか? 時には母校のことを思い出し、学生時代を見つめなおすことも意味あることだと思いますが。

また、毎年必ず出席しておられた井口先輩は、体調が思わしくないとのことで欠席されました。そして、2014年9月、104歳の大往生を遂げられました。ご冥福をお祈りいたします。(合掌)

明治・大正・昭和・平成と生き抜かれ、我々の記憶に多大な思い出とご教授をいただきましたこと、感謝いたしております。ありがとうございました。

最後に井口久義先輩の言葉を掲載させていただきます。

『支部の役割として、地方の同窓会員同士の絆を深めることは大切である。これは将来も、積極的に引き継がれて欲しい。また、九州支部の活躍は建築科が中心になってきたので、機械や電気科の卒業生の活躍が十分とは言えない。幅広い分野での更に活発な交流が望まれる。私事ではあるが、私の100歳の誕生日を迎えた平成22年には、いつもの顔ぶれ以外に30名ほどの出席者から格別に祝っていただき、心から感激した。』